

一般社団法人北海道バイオ工業会 殿

株式会社北海道霊芝

戸部 耕三

視察報告書

「統合医療展2013」

期間 25年2月19日～20日

場所 東京ビックサイト

目的 統合医療についての情報収集

「統合医療」は、近代西洋医学と相補・代替療法や伝統医学等とを組み合わせで行う療法であり、多種多様なものが存在する。一方、「統合医療」については、患者・国民や医療界において未だ共通認識が確立していない状況にあること、「統合医療」の療法は多種多様であるが故に安全性・有効性に関する科学的根拠が求められることから、その推進に当たっては、これらの課題に適確に対処していく必要がある。このため、これまで得られている知見や、「統合医療」を取り巻く状況を踏まえ、今後の「統合医療」のあり方について調査を行いました。

「統合医療」に対するイメージ

今回の展示会場において、出展者を対象に、代替療法等について調査を行ったところ「療法についてわかっている」と回答したものは、「マッサージ」「漢方」「サプリメント」関係企業団体となり、逆に、「療法についてわかっていない」と回答したものは、「ホメオパシー」「アーユルベータ」「温熱療法」が結果となりました。

「統合医療」は多種多様であり、また、現時点では、全体として科学的知見が十分に得られているとは言えず、患者・国民に十分浸透しているとは言い難いと思います。このような状況下で「統合医療」を推進していくためには、患者・国民の信頼を得ることが重要であり、まずは、安全性・有効性等が適切な形で確立されなければならない。特に安全性の確保ができない「統合医療」を患者・国民に提供することは適当でない。また、患者にとっては、現在行われている治療法に限界を感じた際、他の療法に活路を見出そうとする可能性がある。しかしながら、この場合、療法に関する情報を求めるものの、様々な情報が氾濫している中で、より確実な内容の情報を必要としていると考えられる。以上のことから、今後の取組としては、「統合医療の各療法について、安全性・有効性

等に関する科学的知見を収集するとともに、これらを基にして必要な情報を広く発信していくことによって、患者・国民及び医師が療法を適切に選択できるようにすることが重要であると思います。

健康食品についても

一般社団法人日本統合医療学会健康食品認定委員会で、独自に調査検証を行い、有効性のある商品に認定を行っておりますが、健康食品市場から、消費者が健康食品を選択する際の指標となることになるのか、今後の表示についての課題は多く残されているのではないのでしょうか。

一方、現在の日本においては、少子・超高齢化の急激な加速により、治療を中心とした医療だけでは国民の医療費は増大するばかりであり、予防医学を推進し医療費を減らす実質的な対策が必要とされます。さらに、日本の産業構造は、かつてのモノ作り中心から、環境や健康、観光などの高付加価値のサービス産業分野への大きな転換を迫られています。

北海道においても、医療・健康を中心とした地域振興・産業振興に期待が集まっています。従来の医療のあり方を変革させることは難しいが、国民一人ひとりが医療と自分の体に向き合う環境を作り出すことが急務であり、さらには地域性を生かした「食の安全性や機能性素材」などの情報発信は必要不可欠ではないのでしょうか。販路開拓としては、海外からも注目されている地域ですので、将来有望な産業を育成することは、可能であることを再認識した展示会でありました。

今回の視察という形で参加させていただきましたことを深く感謝いたします。有難うございました。